

平成 29 年度（第 20 回）長崎県マスタース水泳競技大会

1. 主催 (一社) 長崎県水泳連盟・(財) KTN スポーツ振興財団
2. 後援 長崎県教育委員会・(公財) 長崎県体育協会
3. 主管 佐世保水泳協会
4. 期日 平成 29 年 7 月 9 日 (日)
5. 会場 佐世保温水プール (室内 25m) 佐世保市平瀬町無番地 TEL : 0956-23-5455
開 門 8 時 00 分
監督会議 8 時 20 分
開 会 式 9 時 45 分
競技開始 10 時 00 分

6. 競技方法 ① グループを A~N までとし、その年齢区分は、下記のとおりとする。

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| A | B | C | D | E | F | G |
| 18~24 | 25~29 | 30~34 | 35~39 | 40~44 | 45~49 | 50~54 |
| H | I | J | K | L | M | N |
| 55~59 | 60~64 | 65~69 | 70~74 | 75~79 | 80~84 | 85 以上 |

- ② 年齢は平成 29 年 12 月 31 日における満年齢とする。
- ③ 競技は、男女別、年齢別にタイム決勝で実施することを原則とするが、出場者が少ない場合は合同で実施する場合がある。
- ④ 競技は、男女別、年齢別 (エントリータイムを勘案し異なる年齢区分への組分けもある) に組分けを行い高年齢から低年齢の順に実施する。

7. 参加資格 ① 満 18 以上 (競技者登録した学生を除く) 定期的に水泳練習を実施し、健康であること。
② 参加者は、任意のクラブ (団体) に所属していること。
(練習のプールを中心とし、団体名は適宜とする)

8. 表彰 各種目、年齢区分ごとに、1 位~3 位までを表彰する。

9. 申込規定 ① 参加制限 自己の年齢区分種目に限って申込みことができる。
② 申込方法 ア 申込一覧表 (男女別に作成)、イ 個人票、ウ 誓約書
に必要事項を記入の上、参加料を添えて申し込むこと。
③ 参加種目数 一人 3 種目以内とする。(ただしリレー種目を除く)
④ 参加料 個人種目 1 種目 1,200 円、リレー種目 1,500 円
⑤ 参加者の傷害などについては、スポーツ団体保険の範囲内で責任を負う。

10. 申込期間 平成 29 年 6 月 16 日 (金) ~6 月 23 日 (金) 必着のこと。

11. 申込先 〒857-1152 佐世保市黒髪町 6203-7 久富方 佐世保水泳協会 宛
(問合せ先) TEL0956-31-0953

12. 振込先 親和銀行 浜田町支店 普通 4389420
口座名義 佐世保水泳協会事務局長 久富 敏行

13. ① 種目及び競技順序

| No. | (距離) | 種 目 | No. | (距離) | 種 目 |
|-----|------|---------------------|-----|------|----------------------|
| 1 | 100m | フリーリレー (混合 160 才以上) | 16 | 100m | 平泳ぎ |
| 2 | 100m | フリーリレー (混合 一般) | 17 | 100m | メドレーリレー (混合 160 才以上) |
| 3 | 100m | 個人メドレー | 18 | 100m | メドレーリレー (混合 一般) |
| 4 | 200m | 個人メドレー | 19 | 50m | 平泳ぎ |
| 5 | 100m | メドレーリレー (280 才以上) | 20 | 50m | 背泳ぎ |
| 6 | 100m | メドレーリレー (240 才以上) | 21 | 50m | バタフライ |
| 7 | 100m | メドレーリレー (200 才以上) | 22 | 50m | 自由形 |
| 8 | 100m | メドレーリレー (160 才以上) | 23 | 200m | 自由形 |
| 9 | 100m | メドレーリレー (120 才以上) | 24 | 100m | フリーリレー (280 才以上) |
| 10 | 200m | メドレーリレー (一般) | 25 | 100m | フリーリレー (240 才以上) |
| 11 | 25m | 自由形 | 26 | 100m | フリーリレー (200 才以上) |
| 12 | 25m | 平泳ぎ | 27 | 100m | フリーリレー (160 才以上) |
| 13 | 25m | 背泳ぎ | 28 | 100m | フリーリレー (120 才以上) |
| 14 | 25m | バタフライ | 29 | 200m | フリーリレー (一般) |
| 15 | 100m | 自由形 | | | |

② 年齢区分など

- ア ○○才以上とは、4名の合計が○○才以上であればよい。
- イ 混合とは、男女(各2名)の混合であり、男、女の順番は自由とする。
(例：男男女女、男女男女等)
- ウ 区分どおり出場すること。

14. プログラム販売について

1部500円

諸注意

1. 開会式、閉会式はクラスごとスタンドに集合、整列してください。
2. 競技は、(公財)日本水泳連盟競技規則及び、一部日本マスターズ水泳競技規則を準用します。
3. 競技は、すべてタイムレース決勝で行います。
4. 競技運営上、同一種目に限り2グループ以上同時に競技を行う場合があります。
5. フライングは1回で失格です。フライングの者があってもスタートのやり直しはしません。
スタートの合図の前に誤って落ちた場合は水中からのスタートとなります。
6. 招集は、20分前に行います。遅れた場合は棄権と見なします。
7. 健康管理には、各個人及び各クラブでよく注意をして下さい。もしレース出場前に自分の体に異常を感じたら、レースは棄権して下さい。
8. 大会時等に競技結果を掲示しますので、個人情報(氏名・年齢等)が表示されることを了承の上申込むこと。
9. テーピング等の使用は禁止する。(医師の証明書があっても認めない) 但し、キズテープ(リバテープ)程度なら、審判長の判断で認める場合もある。
10. プール入水前には、必ずシャワーを浴びること。
11. 貴重品については、各所属クラブで管理すること。(一切責任は負いません)
12. 一度納めた申込金は、理由の如何にかかわらず返金は認めない。悪天候などによる大会の中止を含む。

泳法上の注意

日本マスターズ水泳競技規則（抜粋）

① スタート

- a. スタートのフライングは1回目で失格する。スタートの信号が発せられたときはフライングの者があってもスタートのやり直しはしない。
- b. 背泳ぎを除く各種目のスタートは、スタート台上、台下または水中からすることができる。
- c. スタート台からスタートする選手は審判長の笛の合図で台上に上がり、直ちに台の前縁に両足又は片足の指をかける。出発合図員の“用意”の合図でスタートの姿勢をとり静止したとき出発の信号が発せられる。台下からのスタートもこれに準ずる。
- d. 選手が静止した後出発の信号が発せられる前にスタートの動作を始めた者はフライングとなる。ただし出発の信号が発せられず故意で無く水中に倒れ落ちた時は、フライングとしない。この者は、水中から上がらず（①—e項）により水中からスタートするものとする。
- e. 水中からスタートする選手は、審判長の笛の合図で水に入り、直ちにスタート用のグリップを片手または両手で持ち、両足又は片足を壁につける。出発合図員の“用意”の合図以下の動作は、台上のスタートと同じとする。

② バタフライ

バタフライの泳法には平泳ぎのキックまたはドルフィンキックと平泳ぎのキックを併用することができる。

*** 競技に参加することも大事であるが、**

棄権する勇気も大事である。